

クレディ・アグリコルのハイブリッド証券のコールスキップについて

2017年3月22日

3月17日(現地、以下同様)、フランスの大手銀行のクレディ・アグリコルは2017年5月31日に初回コール(期限前償還)を迎える米ドル建ての従来型ハイブリッド証券(永久劣後債)を価格95で買い戻すこと、および当該債券の保有者がこれに応じない場合、初回コール日の期限前償還を見送る(コールスキップ)と発表しました。昨年のスタンダード・チャータード銀行のコールスキップを受けて、コールスキップとなる懸念から当該債券の価格はやや下落して推移しており、直前の96台前半程度の気配値から、この発表により1ポイント程度下落した格好となっています。市場の信認を維持すべくコールするとの見方が優勢だったため、市場ではサプライズと受け止められていますが、同時に現在の市場価格に近い価格で買い戻すことを発表したため、債券価格への影響は限定的となっています。同行がコールスキップおよび買い戻しを決断したのは、当該債券の現在のクーポンは6.637%であり、コールスキップ後は3カ月米ドルLIBOR + 1.2325% (現状では概算2.4%程度)の変動利付債となるため、同行は利払い負担を減らすべく、経済合理性を重視したと考えられます。

市場では、現在より大幅に金利の高かった時期に発行されたハイブリッド証券のコールスキップの懸念が高まる一方、発行体による買い戻しの動きが確認されたことで一部銘柄の価格上昇も見られるなど一定の安堵感も醸成されており、ハイブリッド証券市場全体への影響は今のところ軽微にとどまっています。今後のハイブリッド証券市場は、個別債券ごとの現状クーポンとコールスキップ後の金利の差異や、発行体の財務状況により注目が集まると考えられます。

米国では、昨年11月の大統領選挙以降、トランプ政権への期待から株価が大幅に上昇し、債券から株式への資金シフトなどの影響により債券利回りが上昇したものの、引き続き米国の利上げは緩やかなペースにとどまるとの見方が優勢です。またユーロ圏や日本においては、利上げ時期が見通せるような状況にはなく、相応の期間にわたって世界的な低金利環境が続くと思われまます。また、金融セクター全般のクレジットファンダメンタルズは改善していますが、金融機関の発行が新型のハイブリッド証券に偏る中で、従来型ハイブリッド証券は期限前償還などにより市場規模が縮小しており、その希少性から需給面での下支えも期待できることから、従来型ハイブリッド証券市場は中期的に堅調に推移すると思われまます。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212 (営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

当社公募投信のうち、コールスキップされた債券を保有していたファンドは以下のとおりです。

【当該債券(ACAFP 6.637% Perp)の保有状況(2月末時点)】

回次コード	ファンド名	組入比率
2682	ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンドⅡ(為替ヘッジあり)	4.8%
5668	ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)	3.1%
5669	ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし)	3.2%
3235	世界ハイブリッド証券ファンド2014-04(為替ヘッジあり/限定追加型)	1.8%
3238	世界ハイブリッド証券ファンド2014-07(為替ヘッジあり/限定追加型)	1.8%
3244	世界ハイブリッド証券ファンド2014-10(為替ヘッジあり/限定追加型)	1.8%
3253	世界ハイブリッド証券ファンド2015-01(為替ヘッジあり/限定追加型)	1.8%

※組入比率は各ファンドの純資産総額に対するものです。

また、ハイブリッド証券を投資対象としている公募投信のうち、下記のファンドでは当該債券を保有しておりません。

回次コード	ファンド名
3262	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07(為替ヘッジあり/限定追加型)(愛称:メジャー・カンパニーズ15-07)
3266	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10(為替ヘッジあり)(愛称:メジャー・カンパニーズ15-10)
3269	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10(為替ヘッジあり)Ⅱ(愛称:メジャー・カンパニーズ15-10Ⅱ)
3271	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12(為替ヘッジあり)(愛称:メジャー・カンパニーズ15-12)
3273	みずほ公益インフラ関連ハイブリッド証券ファンド2016-01(為替ヘッジあり)
3276	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-02(為替ヘッジあり/限定追加型)(愛称:メジャー・カンパニーズ16-02)
3289	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03(為替ヘッジあり)(愛称:メジャー・カンパニーズ16-03)
3294	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03(為替ヘッジあり)Ⅱ(愛称:メジャー・カンパニーズ16-03Ⅱ)
3300	みずほ公益インフラ関連ハイブリッド証券ファンド2016-05(為替ヘッジあり)
3303	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07(為替ヘッジあり)(愛称:メジャー・カンパニーズ16-07)
3306	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-08(為替ヘッジあり/限定追加型)(愛称:メジャー・カンパニーズ16-08)
3307	みずほハイブリッド証券ファンド2016-10(為替ヘッジあり)(愛称:明日へのとびら)
3324	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2016-11(愛称:メジャー・カンパニーズ16-11)
3327	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2017-01(愛称:メジャー・カンパニーズ17-01)
3627	ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2016-09

以上

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

ファンドの費用について

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

投資者が直接的に負担する費用		投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
購入時手数料	料率の上限は、 3.24% (税込) です。	運用管理費用 (信託報酬)	料率の上限は、 年2.5528% (税込) です。
換金手数料	料率の上限は、 1.296% (税込) です。	その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 (その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。)
信託財産留保額	料率の上限は、 0.5% です。		

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
 ※ファンドにより異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
 ※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申し込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会